

○ null と undefined

null は 値がまだつかない変数の値を渡した、時に使用

undefined は 値が未定義の時に使用

○ オブジェクト

7-12 パティ (ナンバー) = オブジェクトに記憶されるもの

or

オブジェクトの定義

```
const obj = {}
```

○ 7-12 パティの追加

アクセス演算子「. (ドット)」で行う

例) `const = obj {}`

`obj.color = "yellow";`

`console.log(obj.color);` ⇒ 黄色

☆ 配列やオブジェクトの最終要素の値としての「,」

JS ⇒ OK

Json ⇒ エラー

○ 数値への変換

① Number オブジェクト

例) `const numstr = "33.3";`

`const num = Number(numstr);`

文字列型 ⇒ 数値型

② `parseInt(parseFloat)`

例) `const = parse("16 volts", 10);`

← `parseInt` × `parseFloat` は
数値以外を無視

文字列型 "16 volts" ⇒ 数値型 16

↓
解析する基数を指定
10進数で解析